

# 「手の変幻」授業ノート 2015

目標 1 二項対比で文章を整理できるようになる。(教科書を二色に塗ろう!)

目標 2 筆者の不思議な比喩表現に慣れる。(そんな比喩必要なの?)

○二項対比 《特殊》 – 《普遍》の「具体」・「類語」を見つけていく。

普遍  
  (対) 特殊  
  (同) 一般  
  (具) 数字は普遍化した概念だ  
  (換) 様々なものに通じる

特殊  
  (対) 普遍  
  (同) 特異  
  (具) あなたは特殊な能力を持っている  
  (換) 固有の 他とは違う

《特殊》

【両腕がある元のビーナス】

② 具象

③ 高雅と豊満の驚くべき合致を示しているところの、いわば美というものの一つの典型

※典型←→類型……具象的でありながら、普遍的

《普遍》

【両腕を失ったビーナス】

- ① 彼女がこんなにも魅惑的であるためには、両腕を失っていなければならなかつたのだ
- ② よりよく国境を渡ってゆく
- ② よりよく時代を超えてゆく
- ② 具象の放棄
- ② 全体性

それらに比較して

③ その顔にしろ、その胸から腹にかけてのうねりにしろ、あるいはその背中の広がりにしろ、どこを見つめていても、ほとんど飽きさせることのない均整の魔が、そこにはたたえられている

③ 大理石でできた二本の美しい腕

③ 具体的な二本の腕

③ 見事な二本の腕

③ 失われた両腕は、ある捉えがたい神秘的な雰囲気、いわば**生命の多様な可能性の夢**を、深々とたたえているのである。

③ 存在すべき無数の美しい腕への暗示

③ 全体性